

2016.11 清心児童/予想問題 4

小学生の約6割が他人の顔写真をインターネット上に無断で掲載することに抵抗を感じていない。文部科学省は、そんな調査結果を公表した。ここからは情報モラルの低下が読み取れるのではないか。情報モラルについて、あたなの意見を600字以内で述べよ。

電車の中、ファストフード店、デパートのオープンスペースなど多くの人がスマートフォンの画面を見つけているのは当たり前の光景になった。その中に小学生や中学生が混じっていることも珍しくない。これほど情報通信機器が発達し普及した社会で、アンケート結果は子どもたちの情報モラルが低くなっている現状を示唆していると考ええる。

では、情報モラルを向上させるにはどのような方法が考えられるだろうか。ひとつは、家庭の中で、子どもたちと話し合ったうえで携帯電話やスマートフォンを利用するルールを作ることだ。例えば、「食事中、夜10時以降、居間以外では利用しない」「人を傷つける書き込みはしない」などだ。もうひとつは、有害サイトへのアクセスを遮断するフィルタリング機能をつけることだ。子どもたちは社会経験が乏しく、情報の真偽、意図、影響を判断する力が育っていない。そのような段階で、誹謗中傷やプライバシーを傷つける悪意のあるメッセージが飛び交うようなサイトにアクセスすることは、子どもたちのモラル意識を歪めることにつながる。

ただ、以上の点は対処療法にすぎない。なぜなら、情報モラルは現実社会のモラルの反映だと考えるからだ。他人の顔写真や住所、氏名をインターネット上に公開することは、公園や道路など公共の場所に張り紙したり、落書きしたりすることに等しい。まず、「自分がされたら嫌なこと、悲しいことは他人にもしない」という人を思いやる気持ちを育むことが大切だ。その気持ちがあれば、どのようなコミュニケーションの場でもモラルを維持できると私は考える。